

こぼと

守口市民生委員児童委員協議会

編集 広報・調査部会



第68号

守口市京阪本通2-5-5
守口市社会福祉協議会内
〒570-0083 電話 6992-2715

守口市民児協で18年間実施している三世代間交流事業「三世代ふれあいっ子」ですが、「市町村民児協活動振興事業助成金」を活用させていただき、三郷小学校と地区民生委員、福祉委員のご理解とご協力を得て、規模を拡大して7月2日に開催しました。

今回特別に組み入れた、かき氷、ガラガラボン、たこせん、スーパール等の「おたのしみコーナー」は大盛況でした。



三世代ふれあいっ子

特別版

何が当たるかな～〈抽選会〉

「あそびと工作コーナー」2階講堂も汗だく。今年から啓発活動として、新聞紙を使った災害時スリッパも大反響。ストロートンボ、紙鉄砲、折り紙、どのコーナーも長蛇の列でした。

3カ所体験後に「おたのしみコーナー」へ進むようにし、児童、園児、保護者、スタッフ総勢377名のご参加をいただきました。

どんな難題にも笑顔で検討対応してくださった小川会長はじめ、部会員、協スタッフの皆様を支えられ、無事、暑さにも負けず、けが人も無く終えることが出来ました。

大井 由喜子



カブトムシが当たった！



みんなで作ろう！〈工作コーナー〉

参加者の声

＊手作り工作がうれしかった。＊人が多くて暑かった。＊オオクワガタが欲しかった。＊カブトムシもらえた！＊お父さんも一緒にどうぞと、声かけしてもらえて参加しやすかった。＊スマートボールで餡がもらえ、何かしらうれしかった。＊親御さんに許可をもらっていないから、ジュースを飲ませられないことを伝えたら、代わりに餡を持たせてくれた。＊暑い中、かき氷をもらってうれしかった。

昨今、人付き合いが希薄になってきている中、人と交わることの大切さの意味を地域の中に根ざし、子どもたちに伝えて行く「三世代ふれあいっ子」。平成10年度から18年間、27回開催しています。

6月11日には、金田小学校での2回目を地区民生委員が全員参加協力で開催し、好評のうちに終わりました。

民生委員・児童委員の日

5月20日京阪守口市駅周辺にて、民生委員・児童委員の「広げよう地域に根ざした思いやり」行動宣言に掲げられた「安心して住み続けることのできる地域社会づくり」の一環として、地区委員長等32人により市民に民生委員・児童委員活動啓発グッズを配付いたしました。



地区活動紹介

南地区

和気あいあいの手芸の会



自信作を前に

6月25日晴れた日の午後、「お久しぶりですね。お元気そうですね!」「そうでもないのよ。元気でいかなあかと頑張っているだけ!」「私も一緒!」和気あいあいの会話で始まった手芸の会、今回は袋物作成です。

色鮮やかな布物を前に、目を細めては、慣れた手つきで針に糸を通します。担当者のアドバイスを受けながら、器用に手を運ばせ、配色の良い紐をあれでもない、これでもない、と、真剣に選んだ結果、自身の最高傑作となりました。

感動とやりきった感が漂う、爽やかな会場となりました。日頃テレビが話し相手の、ひとり住まいの方々に、少しでも温かい人と人が触れ合う良い機会であったと思います。そして、地域の皆様方の笑顔に、私たち、委員一同、心より幸せと使命の大切さを痛感するひと時となりました。

広田 深雪

佐太地区

あそびの広場「さた」

子育て支援・あそびの広場「さた」を始めてもう1年が過ぎました。

民生・児童委員、社協福祉委員、さんあい広場「さた」のスタッフの皆さんの協力のもと、毎月第3火曜日に開催しています。

主任児童委員を中心に、「こんにちは赤ちゃん運動」の訪問の際も、あそびの広場のことを伝えて参加を呼びかけたり、保育所解放の日に出向いた時声をかけたり。始めた頃は2〜3組だった親子連れも、回を重ねるごとに増え続けて部屋が狭く感じられるこの頃です。

顔なじみも増えて、地区のあちこちで出会って声をかけ

られることも多くなりました。少しの時間でも、子育て中のお母さんがホッと一息つける場所であつたらいいなあと思っています。

岡本 みち子



あそびの広場「さた」の様子

梶地区

生ゴミの減少法

町会のシニアクラブの会合の中で、どう工夫すれば生ゴミを減らすことが出来るかと話し合いましたが、結論が出ないまま終了しました。

その課題を地区の委員に相談した結果、古紙を活用し小さな四角形の箱を作り、その

中に生ゴミを入れ、上から重しのふたをすると、水を切る事が出来ることが分かりました。

早速、その古紙の箱を杜協のいきいきサロンに提案し、参加者の皆さんに作っていただくことになりました。皆さん手を真つ黒にして、なごやかにもう1個、2個と箱を完成させていきました。

いきいきサロンの最後に、「皆様の努力は小さなことかも知れませんが、その積み重ねが大きな輪になって広がり、やがて子どもたちの未来を拓いて四季のある美しい日本を残すことになるでしょう。」と挨拶させていただきました。

参加者の皆さんも、「少し賢くなったような気がする。」と言って胸を張って帰られました。

瀧本 隆子



“古紙の水切箱”



事例 ファイル③

80歳代の一人暮らしのAさんの近所の方からすぐ来てくださいとの連絡があり、駆けつけるとAさんの友人という方がいました。話を聞くと「ここ数日電話をしても応答がなく、留守電話を入れておいても返事がないので心配して訪問した。」とのことでした。

家は窓があいている。インターフォン、固定電話、携帯電話いずれも中で呼び出し音が鳴っているのに応答がない。

まずは身寄りの方に連絡をと避難行動要支援者の名簿、救急安心カプセルの配付名簿を見ましたがAさんの名はなく110番に連絡、所轄の警察官に来ていただきました。

警察官も大声を出して呼びかけましたが返事はなく、本署の許可を得て窓から入り安否を確認することになりました。

窓枠に足をかけたその時、3階の窓から突然の声。「他人の家の前で何を騒いでいるのですか。」事情を話すと「迷惑です。心配なにかしていません。」とりあえず無事であったことにホッとしました。

部会活動報告

生活福祉障がい・高齢者
福祉部会合同施設見学

小雨降るかやぶきの里

9月26日、生活福祉部会、障がい・高齢者福祉部会との合同施設見学として京都美山かやぶきの里を訪ねました。地元ガイドの案内で、「昔むかし、あるところに」と語り出したくなるような日本の原風景ともいうべき、かやぶきの里を散策し、その佇まいに癒されました。しかし、屋根の葺き替えに800万円もの費用がかかることには驚きました。

また、美山民俗資料館では、保存地区の特徴や、その住まいの特徴等、ユーモアのある説明と見学で時の経つのも忘れていました。



震度7の地震体験

9月27日に、児童福祉部会、広報・調査部会合同で奈良方面へ施設見学に行きました。最初の奈良市防災センターでは、①消火器②地震③煙避難④台風と4つの体験をし、万が一災害が起こった場合、1番大切なのは「まず、自分の身を守る」ということを再確認しました。

児童福祉広報・調査部会
合同施設見学

美山町自然村・河鹿荘での昼食後、帰り路で亀岡夢コスモス園に立ち寄りしましたが、期待したコスモスは二分咲きでガッカリ。それでも、大きな天候の崩れもなく、委員相互の親睦を図れた有意義な一日となりました。

茅葺きの
里を見守る丸ポスト
藤井 満洲夫



7月28日に、部会研修会を開催しました。大阪府社協・社会貢献支援員 辰巳正秀氏に資料やスライドを使い研修を進めていただきました。

「今日明日、食べるものがない」「電気、ガスを止められた」「医療費が払えない」等々、生活に困っている方々に対し『大阪しあわせネットワーク（オール大阪の社会福



府社協・社会貢献支援員の辰巳氏

生活福祉部会研修会

そして、正岡子規にゆかりのある天平俱樂部で昼食をとった後、今年「第60次式年造替」の春日大社を参拝し、興福寺国宝館を拝観、古都奈良を堪能しました。

そして、何より良かったのは他の部会の方々と交流が出来たことです。

清水 昭實

社法人による社会貢献事業」を府社協と府内の社会福祉施設経営者部会・各施設種別部会でおこなっています。生活保護の制度とは違った、一時的な支援です。いろいろな面で困ったことは、ご本人では言いづらいもので、また、我々が困窮者を発見することも難しいものです。地域でアンテナを張ることによって発見出来た時や、相談にいられた時は、このような制度、支援があることを情報提供し、市内の高齢者施設や社協の相談窓口に行かれることを勧めることがよいのではないのでしょうか。

一人でも多くの方にこのような支援を受け、自立に向けて明るい生活を送っていただきたいものです。

藤田 富美子

障がい・高齢者福祉部会研修会

9月7日、社協事務所2階に、りそな銀行大阪公務部から大林、中西、折戸氏の3名を迎え、「終活」相続・遺言・エンディングノートについて研修を受けました。

医療が進歩し、昔に比べて人は長生きするようになりま



しっかり準備しておくことが大事

「エンディングノート」といった言葉もよく耳にするようになりました。65歳以上の7人に1人が認知症またはその予備軍と言われる高齢者社会にもなっています。

人生をよりよく締めくくるためには何が必要なのか、避けて通れない問題に、とても興味深く話を聞くことが出来ました。

遺された方が困らないよう自分はどうありたいか、「万一」に備え、自分の身体や財産に関すること、感謝の言葉も添え、書き残すことも大切です。

「相続」や「遺言」等は、様々なことが絡む、難しい事柄です。より良い方法、伝え方を今からしっかり考えておくことが大事だと勉強になりました。

中尾 光代

第68回
大阪府民生委員
児童委員大会

5月13日に、大阪国際交流センターにて、第68回大阪府民生委員児童委員大会が開催されました。当日は、大阪府内の民生委員・児童委員をはじめ多くの来賓が出席され、永年功労者等への表彰や、パリンピック陸上日本代表の中西麻耶さんが「あきらめない心」をテーマに記念講演を行いました。

また、総会を司守市民児協・藤田富美子生活福祉部会長が務めました。



受賞者の皆様おめでとうございます



平成28年度表彰

主任児童委員連絡会施設見学

1年間の委員活動の中で最も勉強になって心に残るのが施設見学です。今年は、府立子どもライフサポートセンターに行かせていただきました。入所を必要とする中学卒業後の子どもに対し、集団生活を通じて社会的自立に向けたサポートをする施設です。センターの次長さんが施設の説明や、具体的な事例について話してくださいました。

それによると、この施設は、不登校、引きこもりの子どもを対象に平成15年に開設されたのですが、今は虐待等の理由から、家庭での生活が出来ない、親から離れたい等の社会的養護が必要な子どものための施設にニーズが変わっていることに驚きました。

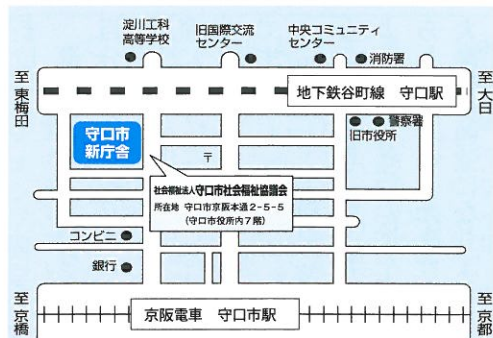


施設に来る子どもたちの9割が虐待を受けている現実を知り、先輩方に教えていただきながら、「地域からこういふことが1件でもなくなるようにするにはどうしたらいいか」「主任児童委員として何が出来るか」を考えていきたいと思っています。

村山 かおり

守口市民生委員児童委員協議会
事務所移転について

平成28年10月31日
守口市新庁舎7階に移転いたしました。
〒570-0083
【所在地】 守口市京阪本通2丁目5番5号
(守口市社会福祉協議会内)
【電話】 06-6992-2715
【FAX】 06-6998-3201



ご協力ありがとうございました
熊本地震災害
義援金募金の報告

5月12日に京阪守口市駅周辺で守口市民児協と守口市社協により熊本地震災害義援金の街頭募金活動を行いました等、36万6699円の募金をいただきました。集まった募金は、大阪府共同募金会にお届けいたしました。

また、守口市の民生委員・児童委員から集まった12万3500円の募金を、全市民児連の「熊本地震災害民生委員・児童委員支援募金」に、府民児協連を通して送金いたしました。

編集後記

広報・調査部会で「こばと」編集に携わって6号目を迎えました。企画から始まり、原稿の宅配・レイアウト・校正チェックなど数度の編集会議を経ながら、より良い紙面づくりを目指して作業しています。

頭を悩ませることも多い反面、完成した冊子を見るのはとても待ち遠しいものです。今後とも皆様のご協力をよろしくお願いします。

奥山 寿一